

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6

改訂日:  
2021/10/10

前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 : コバス b 101 用 HbA1c 測定コントロール

製品番号 : 518507848

**供給者の会社名称、住所及び電話番号**

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区港南1-2-70  
1080075  
Japan

電話番号 : 0120-600-152

FAX番号 : 0120-600-153

緊急連絡電話番号:  
緊急連絡先: : カスタマーソリューションセ  
ンター  
0120-600-152

**推奨用途及び使用上の制限**

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : クオリティーマネジメント部

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

#### GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

#### GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

### 3. 組成及び成分情報

#### *Ctr. with/without reference value*

#### GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

化学名又は一般名 : 感染性があるものとして取り扱う。

#### 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6

改訂日:  
2021/10/10

前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

Chloramphenicol	56-75-7	< 0.1	
シアン化カリウム	151-50-8	0.008	1-1086

### 4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。  
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。  
口を水ですすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 情報無し。
- 医師に対する特別な注意事項 : 救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 特有の危険有害性 : 情報無し。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 項目7および8に記載した保護措置を参照する。
- 環境に対する注意事項 : 流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

封じ込め及び浄化の方法及び : 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。  
機材 廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
- 安全取扱注意事項 : 個人保護については項目 8 を参照する。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
- 接触回避 : 強酸と強アルカリ
- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。

## 保管

- 安全な保管条件 : 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければ  
ならない。
- 保管状態に関する追加情報 : ラベルあるいは添付文書を参照
- 混触禁止物質 : 特に言及すべき物質は無し。
- 保管安定性に関する詳しい情 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。  
報

## 8. ばく露防止及び保護措置

*Ctr. with/without reference value*

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
Chloramphenicol	56-75-7	IOEL	0.1 mg/m <sup>3</sup>	Roche Industrial Hygiene Committee (RIHC)
Potassium cyanide	151-50-8	ACL	3 mg/m <sup>3</sup> (シアン化物)	安衛法 (管理濃度)
		OEL-C	5 mg/m <sup>3</sup> (シアン化物)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 経皮吸収				

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6

改訂日:  
2021/10/10

前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

		C	5 mg/m <sup>3</sup> (Cyanide)	ACGIH
		C	5 mg/m <sup>3</sup> (Cyanide)	ACGIH

設備対策 : データなし

### 保護具

呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。

### 手の保護具

飛沫等に接触した場合:  
材質 : ニトリルゴム  
破過時間 : > 30 min  
手袋の厚さ : > 0.11 mm

完全接触の場合:  
材質 : ブチルゴム  
破過時間 : > 480 min  
手袋の厚さ : > 0.4 mm

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU 指令 2016/425 の仕様と、それから派生する規格 EN374 を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。製造メーカーと相談の上、作業場所に相応しい防護手袋を着用すること。

眼の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護服

## 9. 物理的及び化学的性質

### *Ctr. with/without reference value*

物理状態 : 液体

色 : 赤色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : データなし

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

沸点／沸騰範囲	: データなし
可燃性（固体、気体）	: この製品は GHS 分類の可燃性ではない。
可燃性（液体）	: 燃焼が持続しない。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
引火点	: 引火しない。
自然発火点	: データなし
分解温度	: 有害な分解生成物が火があるとき生成される。
pH	: 中性
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: データなし
粘度	
粘度（粘性率）	: データなし
動粘度（動粘性率）	: データなし
溶解度	
水溶性	: 完全に混和性である
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 （log 値）	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度 比重	: データなし
相対ガス密度	: データなし
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6

改訂日:  
2021/10/10

前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

### 10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
- 化学的安定性 : 通常の状態では安定。
- 危険有害反応可能性 : 下記の物質と反応する :  
酸類  
塩基類  
推奨保管条件下では安定。  
特に言及すべき危害要因はない。
- 避けるべき条件 : データなし
- 混触危険物質 : 強酸と強アルカリ
- 危険有害な分解生成物 : 火災の際、次のような有害分解が起こる可能性がある:  
二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)  
一酸化炭素

### 11. 有害性情報

#### *Ctr. with/without reference value*

##### 急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

##### 成分:

##### Chloramphenicol:

- 急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 2,500 mg/kg  
LD50 経口 (マウス): 1,500 mg/kg

##### シアン化カリウム:

- 急性毒性 (経口) : LD50 経口 (ラット): 5 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : 急性毒性推定値: > 0.05 mg/l  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: 専門家の判断
- 急性毒性 (経皮) : LD50 経皮 (ウサギ): 14.3 - 33.3 mg/kg

##### 皮膚腐食性/刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

##### 成分:

##### Chloramphenicol:

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

備考 : この情報は利用できません。

## シアン化カリウム:

備考 : この情報は利用できません。

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

## Chloramphenicol:

備考 : この情報は利用できません。

## シアン化カリウム:

備考 : この情報は利用できません。

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

## 皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

## 呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

## 生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

## Chloramphenicol:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vivo 試験で、突然変異誘発性が示された  
ント

## 発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

## Chloramphenicol:

発がん性 - アセスメント : 人間への発ガン潜在性が疑われる

## シアン化カリウム:

備考 : この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト  
発がん性物質の可能性があり、となり得る、またはヒト発が  
ん性物質であるとして確認されている物はない。

## 生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31**成分:****Chloramphenicol:**生殖毒性 - アセスメント : 胎児への悪影響のおそれの疑い。、疑わしい人間の生殖への  
毒性物質**特定標的臓器毒性（単回ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****Chloramphenicol:**アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）  
としては未分類。**シアン化カリウム:**アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）  
としては未分類。**特定標的臓器毒性（反復ばく露）**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****Chloramphenicol:**アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（反復ばく露）  
としては未分類。**シアン化カリウム:**標的臓器 : 甲状腺  
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。**誤えん有害性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

**成分:****Chloramphenicol:**

データなし

**シアン化カリウム:**

データなし

## 12. 環境影響情報

*Ctr. with/without reference value*



## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

## 生態毒性

## 成分:

## Chloramphenicol:

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 345 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

## シアン化カリウム:

魚毒性 : LC50 (Leuciscus idus (コイの一種)): 0.07 mg/l

LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 0.45 mg/l  
曝露時間: 96 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.53 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 24 hEC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2 mg/l  
曝露時間: 48 h

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## 残留性・分解性

データなし

## 生体蓄積性

## 成分:

## Chloramphenicol:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: 非該当  
(log 値)

## シアン化カリウム:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.44

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

(log 値)

## オゾン層への有害性

非該当

## 他の有害影響

データなし

## 13. 廃棄上の注意

## 廃棄方法

残余廃棄物 : 感染性物質としての特別処理は、現地の規制（消毒と焼却）上義務です。  
現地の規定に従順する場合は、廃水として処分できる。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。  
空の容器を再使用しない。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

危険物として規制されていない

## 航空輸送 (IATA-DGR)

危険物として規制されていない

## 海上輸送 (IMDG-Code)

危険物として規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

非該当

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 15. 適用法令

*Ctr. with/without reference value*

## 関連法規

## 消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

消防活動阻害物質 貯蔵等の : シアン化カリウム

届出を要する物質

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6

改訂日:  
2021/10/10

前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

### 化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

### 労働安全衛生法

#### 製造等が禁止される有害物

非該当

#### 製造の許可を受けるべき有害物

非該当

#### 健康障害防止指針公表物質

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

#### 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

#### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

#### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

#### 特定化学物質障害予防規則

非該当

#### 鉛中毒予防規則

非該当

#### 四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

#### 有機溶剤中毒予防規則

非該当

#### 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

#### 毒物及び劇物取締法

毒物

化学名	政令番号
無機シアン化合物及びこれを含有する製剤	8

#### 化学物質排出把握管理促進法

非該当

#### 高圧ガス保安法

非該当

#### 火薬類取締法

非該当

**コバス b 101用 HbA1c測定コントロール**版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**水質汚濁防止法**

有害物質（法第2条、施行令第2条、排出基準を定める省令第1条）

**麻薬及び向精神薬取締法**

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）

非該当

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：**

AIIC	: インベントリーに従わない
DSL	: 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。
NZIoC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
ENCS	: インベントリーに従わない
ISHL	: インベントリーに従わない
KECI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
PICCS	: インベントリーに記載されている、または準拠している
IECSC	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TCSI	: インベントリーに記載されている、または準拠している
TSCA	: 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている

***Ctr. with/without reference value*****GHS ラベル要素**

GHS 分類基準に該当しない。

## コバス b 101用 HbA1c測定コントロール

版番号  
1.6改訂日:  
2021/10/10前回改訂日: 2019/04/26  
初回作成日: 2013/10/31

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA / 2010